

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-136	23-093	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
The association between alcohol intake and obesity in a sample of the Irish adult population, a cross-sectional study アイルランド成人における飲酒と肥満との関連：横断研究		
執筆者		
AlKalbani SR, Murrin C.		
掲載誌		
BMC Public Health. 2023 Oct 24;23(1):2075. doi: 10.1186/s12889-023-16946-4.		
キーワード	PMID	
肥満、問題飲酒、ウエスト	37875864	
要 旨		
<p>目的：飲酒は肥満の危険因子として報告されているが、エビデンスは不足している。本研究ではアイルランド成人において、飲酒と肥満との関連を検討した。</p> <p>方法：2017年のアイルランド健康調査データを2次利用して、横断研究を行った。アルコール関連変数とウエストやBMIとの関連を分析した。回帰分析を用いて問題飲酒（AUDIT-Cスコア5以上）と肥満指標との関連を分析した。社会的要因、健康および飲酒関連の変数を調整した。</p> <p>結果：25歳以上の6864人を調査した。82%が飲酒者で、そのうち76%は週3回未満の飲酒者だった。48%が問題飲酒者であった。多変量調整後、問題飲酒はウエストおよびBMIと有意に関連した。過剰飲酒（binge drinking）はウエストと有意に関連したが、飲酒頻度はBMIを負の関連を示した。</p> <p>結論：問題飲酒は肥満（ウエストとBMI）と独立した関連を示した。頻回飲酒はBMIと負の関連を示した。縦断的研究を行ってさらに検討する必要がある。</p>		